

女性役員育成・理工系女性人材の育成促進に向けて
(第 14 回重点方針専門調査会)

平成 30 年 4 月 24 日
お茶の水女子大学
室伏きみ子

本日の調査会を欠席するに当たりまして、女性役員育成・理工系女性人材の育成促進に向けて、以下の意見を提出致します。

- お茶の水女子大学は、1875 年の創設以来一貫して、女性の自立と社会的活躍促進に向けた教育を実施して来ました。お茶の水女子大学に所属する学生・教員を対象とした女性研究者の育成と活躍支援などの取組のほか、女子の理工系進学者の増加に向けて、女子中・高生とその保護者や教員を対象とした講演会やセミナー等を、地方都市も含め、全国的に開催しています。(別添 1)
- 社会で活躍する理工系女性から女子中・高生に対してキャリアを示すことは、理工系分野へ進学することへの興味・関心を高める上で有効な方策です。今後、理工系分野における女性人材を育成・確保していくためには、産学官が連携し、理工系女性の活躍や人材育成の場を拡大すると共に、理工系進学の先にある多様なキャリアを全国各地で示していく必要があります。
- また、2015 年度より、キャリアアップを目指す女性のための「お茶大女性ビジネスリーダー育成塾：徽音塾(きいんじゅく)」を開講しています(詳細は別添 2 参考資料を参照して下さい)。これまでの 4 期(1 年度 1 期、各期 6 講座を開講)で 304 名の受講者があり、講座修了後には修了証書が発行されています。
- 第 4 次男女共同参画基本計画の目標も踏まえ、より積極的に女性役員候補を増やすためには、長く女性に学びの場を提供してきた大学における取組を含め、産学官の協働による研修の拡充策が必要だと考えます。

以上

日本の研究職における女性活躍の現状

- ◆ 政府による女性研究者に対する具体的な数値目標
 - ・ 2020年までに、女性研究者の割合を30%に
 - ・ 指導的地位にある女性研究者の割合を30%に
- ◆ 日本では、女性研究者が他の先進国と比べて遥かに少ない



- ◆ 特に理工系の女性研究者が不足
 - ・ 理学系分野の女性教員の割合：14.2%
 - ・ 工学系分野の女性教員の割合：10.2%

※男女共同参画白書（概要版）平成29年版より

【理系女性人材育成の取組】

- ◆ 戦略的教育研究組織による取組



- ◆ サイエンス&エデュケーションセンターの活動

平成28年度では510名に対する理科教員研修、児童・生徒7,482名に対する理科出前授業、一般社会人831名の市民科学・公開学習講座を実施

- ◆ スーパー・サイエンス・ハイスクール（SSH）支援

SSH指定の6女子高校の活動支援として、研究交流会を夏休みに本学理学部にて開催

- ◆ 「科学への誘いセミナー」

理系志望の女子高校生に対し、理学部教員が自然科学の講義を実施。参加者は例年100名を超える



お茶の水女子大学の取組

【本学独自の女性活躍支援策】

- ◆ 学内保育所（現：いずみナースリー）の設置

平成14年に病院のない**国立大学初の保育施設**として開所。学生の保育料半額を大学が補助



- ◆ その他の本学独自の研究者支援

- ① 子育て中の女性研究者支援
研究補助者配置等により、論文数・外部資金獲得件数が増加
- ② 研究者本人又は配偶者の妊娠中や産後休暇・育児休業後、親族の介護・看護に携わる学内研究者への一時支援
研究・事務等の補助業務に対して謝金を支出
- ③ 育児等により研究を中断した女性研究者の復帰支援、研究の継続支援「みがかずば研究員」制度
平成24年～28年の5年間で35名を支援
半数以上が、国立・私立大学のフェロー・ポスト等を獲得

お茶大
女性ビジネスリーダー育成塾

き いん じゅく
微音塾

まなぶみがくつながる
・・・> 一歩前へ！

別添2 参考資料

2018



最寄の駅から門まで

東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅から徒歩7分
東京メトロ有楽町線「護国寺」駅から徒歩8分
都営バス「大塚二丁目」/停留所下車徒歩1分

お茶の水女子大学
Ochanomizu University

お問い合わせ先
お茶大女性ビジネスリーダー育成塾：微音塾 事務局
〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1
TEL:03-5978-5501 (水・金 午前10時～午後5時)
E-MAIL: kiin-le@cc.ocha.ac.jp

HP

<http://www-w.cf.ocha.ac.jp/leader/kiin/>

facebook

<https://www.facebook.com/kiinjuku>



facebook



HP

まなぶみがくつながる

＜・・・＞ 一歩前へ！



◆ 微音塾の理念

お茶の水女子大学は、2014年度からキャリアアップを目指す女性のための「お茶大女性ビジネスリーダー育成塾：微音塾」(以下、微音塾)を開講しました。

現在の日本においては、女性の幅広い分野での活躍を推進する機運がまだまだつてないほどに高まっています。しかし、優秀かつ意欲ある女性であっても、指導的地位に就き、リーダーシップを発揮することは容易ではありません。女性の活躍を推進する環境づくりに加え、女性自身の意識変革や、不安や悩みの解消、自信を涵養することが、いま、社会的に求められています。

このような背景から、企業等で管理職などの指導的な立場に就くことを目指す女性を主たる対象に、微音塾は開講されました。本塾は、学ぶ意欲のある女性に国立の女子大学ならではのきめ細やかで質の高い学びと交流の場、および家事や育児等と両立可能な学習環境の提供を目的としています。

微音塾のキャッチフレーズ「まなぶみがくつながる → 一歩前へ!」は、塾生だけではなく、「リーダーシップを発揮する女性を育成する」というお茶の水女子大学の社会的使命をも表現しています。本学は、創設以来一貫して、女性の自立と社会的活躍に寄与してきました。長い歴史のなかで、女性が学ぶ場を作るべく道を切り拓いてきた本学の新たな使命は、社会人女性が意欲的に学ぶ場を創造し、社会的変革に寄与する女性リーダーを輩出することであり、ひいては女性が活躍する社会を実現していくことにあります。

微音塾で学んだ女性たちが、それぞれの立場で最大限の可能性を開花していかれることを願っています。多くの方のご参加を歓迎いたします。

＊塾の名前にある「微音」^{ミイ}とは、古くは中国の『詩経』大雅に見られることばです。直訳すると「美しい声」であり、「美德」を意味しています。微音塾に集う女性たちが、自分を磨き、美しく響きあって共に学びを深め、実践に生かすことと、それが社会に共鳴の輪となって広がることへの期待を込めて名付けました。



＊お茶の水女子大学は、前身である東京女子師範学校の開校にあたり、昭憲皇太后から、1875(明治8)年12月に下賜された御製歌「みがくかずば 玉もかがみも なにかせん 学びの道も かくこそ ありけれ」の精神に基づき、常に問題意識を持ち、自ら積極的に周囲に働きかけ、社会に変革をもたらす、新しい時代の女性リーダーを育成しています。

リーダーに求められるマネジメント能力を体系的に学びあう



◆ 微音塾の特長

01 企業等で指導的立場に就くための知識やスキルを習得できます。

※一部の講座は部分受講もできます。詳しくは募集要項(p.9～10)をご覧ください。

02 授業は少人数制。
講師と塾生が近い距離でグループワークやディスカッションできます。

03 受講者は女性のみ。交流会を通じネットワーク作りができます。

※ネットワーキングランチ(昼食を兼ねた交流会、p.7)を是非ご利用ください。

04 講座終了後のフォローがあります。提出されたレポート課題には講師からのきめ細やかなコメントが返ってきます。

05 都心のキャンパスで開講。
アクセスしやすい環境です。

INDEX

P1

微音塾の理念

P2

微音塾の特長

P4

2018年度

開講講座・講師一覧

◆ 春学期

〈5月講座〉

女性のエンパワメントと
リーダーシップ

P5

〈6月講座〉

リーダーシップ/
異文化コミュニケーション

◆ 秋学期

〈9月講座〉

企業会計

〈11月講座〉

経営戦略/マーケティング

P6

◆ 冬学期

〈1月講座〉

イノベーションと

アントレプレナーシップ/
CSRと情報開示

〈2月講座〉

企業と法律

P7

ネットワーキングランチ

P8

塾生の声

P9

2018年度

募集要項

◎こんな人は微音塾へ！

～あなたは働くうえで次のような悩みや不安をもったことはありませんか？～

- ★昇進を打診されたけれど、自分にできるか不安。
自信を持てるようになりたい。
- ★OJTだけでなく体系的にビジネスの知識を学びたい。
- ★ビジネススクールに通うのは難しいけれど、将来キャリアを
ステップアップさせるために必要な知識や助言がほしい。
- ★他の女性がどんなふうに働いているのか気になるし、
自社の仕事だけでなく他社・異業種の様子も知りたい。
- ★子どもも小さいし、長期間通学するのが難しいのではないかと不安。

微音塾では、このような考えや想いをもった女性たちが集まり、学び、意見を交し
ながらともに磨き合い、自らの課題を克服するきっかけを作ることができます

◎お申込から修了までの流れ



お茶大女性ビジネスリーダー育成塾：微音塾

2018年度

開講講座・講師一覧

春学期 Spring 授業時間 | 13:30～15:00、15:10～16:40(共通)

5月講座 女性のエンパワーメントとリーダーシップ ※部分受講ができます(p.9参照)

「女性はもっと活躍できる」5.12(土)

1人の働く女性としての自身の経験や、労働省での行政経験、さらには、資生堂等の企業で経営者として取り組んできたことを踏まえて、企業における女性の活躍推進をテーマにお話をします。女性のさらなる活躍が必要である理由や活躍推進のための企業の課題を一緒に考えるとともに、先輩として参加者の皆様に、仕事と家庭責任との両立、キャリアアップ、リーダーシップのとりかた等についてアドバイスをしたいと思います。



岩田 喜美枝 [公益財団法人21世紀職業財団 会長]

1947年生まれ。1971年東京大学教養学部卒。1971年労働省入省。厚生労働省雇用均等・児童家庭局長を最後に03年退官。03年株式会社資生堂に入社。08年以降、同社代表取締役副社長、顧問を歴任。12年3月からキリンホールディングス株式会社社外監査役、16年からは社外取締役。12年7月から日本航空株式会社社外取締役。12年7月から公益財団法人21世紀職業財団会長。16年4月から株式会社ストラティブインタナーショナル社外取締役。現在の公職としては東京都監査委員。

「これからの、女性のリーダーシップ～グローバルとローカルの視点から～」5.19(土)

急速な社会情勢の変化の中で、女性リーダーの活躍のチャンスが拡がっています。当講座では、グローバルとローカルの視点から、女性リーダーの活躍のチャンスを紹介し、チャンスをつかむために求められるリーダーシップのあり方を考えていきます。また、最新のリサーチやさまざまな事例をもとに、女性がリーダーシップを発揮するうえで直面する代表的な課題と、実践的な課題克服のヒントを提示します。双方向レクチャーやディスカッションを採り入れ、受講者が問題意識をもち主体的に学ぶ場を提供します。



近藤 美樹 [Value & Vision LLC 執行役員 人材育成・組織開発コンサルタント]

ポストコンサルティンググループ、日本ロレアルの人事マネジャーとして10数年にわたり、人材育成・組織開発に従事。2010年に独立後、企業や教育機関に対し、ひとの意識・行動を変える研修・組織の仕組み・風土を変えるコンサルティングを行う。直近で特に注力しているのは、女性のリーダーシップ開発、及び、ダイバーシティ&インクルージョンの推進。シドニー大学大学院ヒューマンリソースマネジメント・コースチング(心理学)修士(MA with Merit)。IMDビジネススクールStrategies for Leadership修了。青山学院大学文学部フランス文学専攻卒業。

「ダイバーシティ社会におけるワーキングマザーの働き方実践」5.26(土)

女性活躍推進が謳われダイバーシティが進む中で、自らのキャリアと出産・子育てなどのライフイベントとのバランスはどうすればよいのか。ワークライフバランスと言われる中、実際にはどうやって両立しているのか。管理職になると何が変わるのか。IT業界で子育てしながらグローバル案件も担当する講師の事例を参考に、日々悩みながらも自らの将来をステップアップさせるアクションの取り方を知り、ディスカッションを交えながら働き方を考えてみましょう。



角田 仁美 [株式会社NTTデータ 法人コンサルティング&マーケティング本部 コンサルティング部 課長]
大阪府出身。2002年株式会社NTTデータ入社。製造業・小売業を中心とした会計・経営分析、サブライチエーションマネジメント、マーケティング業務のコンサルティング・システム開発に携わる。現在はCX/UXやデジタルマーケティングのコンサルティングサービスを担当する。4歳・8歳の二児の母。専門分野：会計・経営分析、サブライチエーション最適化・見える化、デジタルマーケティングなどの業務・ITシステム。

「女性が政治・経済から遅れる要因は何か、を考える」6.2(土) ※開催日に注意

これまで本塾の講師を第1回から担当してきたが、受講生からの最初に受けた新鮮なインパクトは年々薄れてきたように感じる。個人の問題なのか。社会変化に問題があるのか。私自身がさまざまな組織で働いてきた経験から、経済、政治、グローバル社会の変容と女性のエンパワーメントについて、皆さんと議論する材料を提供したい。



篠塚 英子 [お茶の水女子大学 名誉教授、島根大学 監事(非常勤)、小松製作所 社外監査役、日本証券金融 社外取締役、ライフネット生命 社外取締役など]

1965年武蔵大学経済学部卒業、社団法人日本経済研究センター入社。お茶の水女子大学家政学部助教授、教授。
日本銀行審議委員、お茶の水女子大学(再就職)文教育学部教授、定年退職後、日本司法支援センター(法テラス)理事、人事院人事官。現在お茶の水女子大学名誉教授。専門分野：労働経済学、金融政策、ジェンダー論。
主著『日本の女子労働』『日本の雇用調整』等。総務省統計審議会委員、商学博士(慶應義塾大学)。

6月講座

リーダーシップ／異文化コミュニケーション

授業時間 | 13:30～15:00、15:10～16:40 (共通)

※部分受講ができます (p.9参照)

「貴女のリーダーシップのあり方を考える、作る」 6.9(土)／6.16(土)

リーダーシップのあり方は千差万別です。この授業ではディスカッションを通じて貴女なりのリーダーシップについて様々な角度から考えます。授業はケースメソッドで行われます。ケースを自ら考え、グループで考え、そして皆で考えることで、自分なりのリーダーシップを見つめます。受講生は事前課題のケースをよく読み込んで自分だったらどう意思決定し行動するのか、様々な立場に身を置き考えることが求められます。



たかだ あきこ

高田 朝子 [法政大学大学院 イノベーション・マネジメント研究科 教授]

モルガン・スタンレー証券会社勤務を経て、サンダーバード国際経営大学院国際経営学修士 (MIM)、慶應義塾大学大学院経営管理研究科経営学修士 (MBA)、同博士課程修了。経営学博士。
専門分野：組織行動 リーダーシップ 女性総合職並びに後継者研究。

「多様性対応コミュニケーション」 6.23(土)／6.30(土)

異なる文化背景の人々とのコミュニケーションの際、言葉が通じても文化の差による勘違いや摩擦が起きることが多々ある。逆にその勘違いや摩擦から得るものも大きい。ビジネスリーダーは多様性を積極的に活用し効果を上げなければならない。この授業ではディスカッションや疑似体験等を通して、異文化接触を体験的に学んでもらい、感受性を高める。受講生の積極的かつ主体的な参加が求められる。



よしだ ともこ

吉田 友子 [慶應義塾大学 商学部 教授]

1991年にEast-West Centerの研究員、1993年にSheraton Hotel HawaiiのTraining Directorを経て1996年に慶應義塾大学商学部に着任。現在、教授。1991年にシラキュース大学大学院修士号取得、2005年にハワイ大学大学院博士号取得。専門分野：異文化コミュニケーション、文化心理学。

秋学期

Autumn

授業時間 | 13:30～15:00、15:10～16:40 (共通)

9月講座

企業会計 ※プレ講座あり (p.6参照)

「企業会計(財務会計及び管理会計)」 9.1(土)／9.8(土)／9.22(土)／9.29(土)

本講座は、ビジネスリーダーを目指す上で身に付けておきたい企業会計の重要な事項を学びます。財務会計においては、簿記や会計の基本的諸原則、制度を解説した上で、実際の開示資料である有価証券報告書や会計上のトピックスに触れることで財務諸表への理解を深めることを、管理会計においては、原価計算の基礎及び損益岐点分析、プロジェクト評価の方法、資本コスト等、管理会計の基本的な要素を知ingることを目的としています。



なかぐち えつこ

中溝 恵津子 [中溝公認会計士事務所 公認会計士]

1991年お茶の水女子大学家政学部卒業。政府系特殊法人勤務を経て、1995年大手監査法人入所。製造業、金融機関、学校法人等の監査に従事。2000年に独立、主として決算支援業務を行っている。

11月講座

経営戦略／マーケティング

「経営戦略の基礎」 11.3(土)／11.10(土)

なぜ企業や事業は成功するのでしょいか? どうすればその成功を持続できるのでしょいか? その答えの一つが戦略です。どんなに優れた人が集まっても、どんなに優れた商品やサービスがあっても、戦略(目標や目的に向かってとるべき方策)があいまいであれば、持続的によい結果を生み出すことはできません。本講座では、あらゆる「経営」には欠かせない戦略について、グループワークや講師との双方向のディスカッションを通して基本からやさしく学びます。



にしはら ひろせ あやの

西原 (廣瀬) 文乃 [立教大学 経営学部 国際経営学科 助教]

名古屋大学法学部卒業。日本電気株式会社 (NEC) 勤務のち、一橋大学大学院国際企業戦略研究科にて野中郁次郎教授に師事し、修士号 (MBA)、博士号 (DBA) を取得。一橋大学大学院国際企業戦略研究科特任講師を経て2016年4月より現職。
専門分野：経営戦略、リーダーシップ、ソーシヤルイノベーション。

「マーケティング入門」 11.17(土)／12.1(土) ※開催日に注意

マーケティングとは、顧客(マーケット)に商品やサービスを売るための「仕組み(商品開発、価格設定、プロモーション、流通ルート)」づくりをいいます。顧客という「(見知らぬ)他者への思い」を巡らせながら、彼らが喜んで買ってくれる商品やサービスのあり方について、ワークシヨップ形式で議論していきたいと思っています。準備するものは「他者への好奇心」と「遊びゴコロ」だけです。



かんばら さとし

神原 理 [専修大学 商学部 教授]

1995年兵庫県立大学大学院経営学研究科博士課程修了、同校助手、講師を経て、2000年4月より専修大学に勤務。
専門分野：サービス・マーケティング、商品研究。

冬学期

Winter

授業時間 | 13:30～15:00、15:10～16:40 (共通)

1月講座

イノベーションとアントレプレナーシップ／CSRと情報開示 ※部分受講ができます (p.9参照)

「新規事業開発に効く! イノベーションと企業家活動」 1.5(土)／1.12(土)

経済、社会環境の変化が激しい現代の企業や組織において、新たな価値を生み出すイノベーションは必要不可欠です。特に、これまでの事業分野と全く異なる新規事業の開発や、革新的なベンチャー企業との事業提携においては、イノベーションやそれを活用して新事業を創出する企業家活動への理解が必要です。企業家活動は、リーダーが知っておくべき知識であると同時に、セカンダリヤとして自ら起業する際にも役立つ知識です。本講座では、イノベーションの本質や創出、革新的な事業の開発について、講義とケース分析、グループワークを通じて学びます。



かしの りょうじ

鹿住 倫世 [専修大学 商学部 教授]

1986年お茶の水女子大学家政学部卒業。特殊法人中小企業事業団に入職。
在職中、1996年法政大学大学院経営学専攻修士課程修了(修士(経営学))。高千穂大学教授を経て2010年4月より現職。
博士(学術)(早稲田大学)。
専門分野：アントレプレナーシップ、中小企業経営、創業支援。

「サステナビリティと情報開示(ステークホルダーの視点から)」 1.19(土)／1.26(土)

今や企業にとって欠かせない活動となったサステナビリティについて、その歴史を紐解くとともに、ESG投資、SDGs、CSVなどグローバルのトレンドも踏まえて解説し、企業と社会の関係のあり方を考えます。またサステナビリティレポートや統合報告などの情報開示に関する潮流を、多数の事例とともに紹介し、企業を取り巻くステークホルダーの視点から情報開示を考えます。講座は演習やディスカッションを取り入れた双方向のものとします。



たつなか けんじ

達脇 恵子 [有限責任監査法人トーマツアドバイザー事業本部 パートナー、ESG-統合報告アドバイザー 事業ユニット長、デトロイトトーマツ サステナビリティ株式会社 代表取締役社長]

早稲田大学第一文学部卒。事業会社を経て2000年より現職。
コンサルティングとして企業のカパナンスに関するプロジェクトに多数関与。
専門分野：ガバナンス、リスクマネジメント、サステナビリティ。

2月講座

企業と法律

「女性リーダーが使えるビジネス関連の法律」 2.2(土)／2.9(土)／2.23(土)／3.2(土) ※開催日に注意

日常のビジネスに関係する法律や制度の知識を習得することを目的とします。消費者契約法、特定商取引法、PL法、景表法、独禁法、下請代金遅延等防止法、会社法、金商法、コンプライアンス制度、内部通報制度、企業倫理、個人情報保護法、労働基準法、育児介護休業法、男女雇用機会均等法、労働者派遣法、高年齢者・障害者雇用、労働審判手続、女性活用推進法などが対象です。可能な限り将来の法改正の方向にも触れたいと思います。

しおざき ひろまさ

汐崎 浩正 [西村あさひ法律事務所 弁護士 (パートナー)]

1989年 東京大学法学部第一類卒業、1997年 シカゴ大学ロースクール卒業(LL.M.)。
[日本の独占禁止法の執行力の強化と国際カルテル事件への対応]「企業不祥事のビジネスリスク」等を講演。
The Legal 500 Asia Pacific 2015(労働法)、及びWho's Who Legal 2017(独禁法)で受賞。
2014年度微音塾「企業法務・労務管理」講師。2015年度から微音塾「企業と法律」講師。



＊9月講座「企業会計」受講者向け プレ講座

「企業会計」の受講にあたり、専門用語や財務諸表の読み方など、基礎的な簿記の知識を身につけることができるプレ講座です。



さくらい やすひろ

【講師】
櫻井 康弘 [専修大学 商学部 准教授]

2001年中央大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得退学。高千穂大学商学部准教授を経て、2012年4月より現職。
専門分野：会計情報システム論、コンピュータ会計。

【日程】9.1(土)、9.8(土)計2日間、いずれも10:30～12:00(90分間)

【場所】お茶の水女子大学 人間文化創成科学研究科棟 6階 604室 【受講料】8,640円(2日間分) ※消費税込み

※プレ講座は、「企業会計」講座を受講し、かつ、簿記の初歩的な知識を学びたい方を対象としています。プレ講座のみの受講はできません。

- 講座内容、講師については、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
- 講師の所属、役職等は、2018年3月時点での情報です。

ネットワーキング ランチ

各講座中1回（11：30～13：00）、ランチを兼ねて
塾生同士のネットワークを構築するための交流会を開催しています。

※塾生であれば、どの講座で開催されるネットワーキングランチにも参加できます。
※参加は自由です。参加費（500円程度）が別途必要です。



交流会の様子

【ミニレクチャー】（2017年度に開催したものの一部紹介） ※所属と職位はミニレクチャー開催当時のものです。

2017年度も、本学の教職員を講師としたミニレクチャーをランチの前に実施し、交流を深めるきっかけづくりと日々の生活に役立つ多彩な話題を提供しました。参加者からは、「30分でかなり濃い内容だと思いました」、「女性特有の悩みを語り合えるこのような機会はとても貴重だと思いました」等の声をいただきました。



5月



6月



9月



11月

【5月】
「ひとを励め励ますことは可能か
ーヨブと三人の友だちー」
小濱 聖子 氏
（本学グローバルリーダーシップ研究所 特任リサーチフェロー）

【6月】
「非日常を楽しむミュージアム
ー対話で楽しむ美術作品+カフェー」
林 有維 氏
（本学グローバルリーダーシップ研究所 アカデミック・アシスタント）

【9月】
「選挙の仕組みについて」
大木 直子 氏
（本学グローバルリーダーシップ研究所 特任講師）

【11月】
「働く女性の大きな問題ー家事労働ー」
斎藤 悦子 氏
（本学大学院 人間文化創成科学研究科 准教授）

大学施設（附属図書館）の利用について

塾生は、お茶の水女子大学附属図書館を利用することができます。（初回授業時に図書館利用者カードを配付。）

附属図書館では一般教養書から学術専門資料まで約71万冊の図書や1万1千タイトルの電子ジャーナル、語学学習用の教材や視聴覚資料、ジェンダー研究や幼児教育など本学特有の貴重な資料郡を提供しています。また、全国に先駆けて、ラーニング・コモンズやキャリアカフェといったアクティブラーニングスペースを提供してきました。

2017年度の増築・改修工事を経て、2018年の春には、さらに魅力的な空間としてリニューアルオープンする予定です。1階は、コモンズスペースとして、オープンでグローバルな環境下でのコミュニケーションを伴う学びの場とします。2階は、ラーニングスペースとして、集中して学ぶ個席を増設します。1階と2階は吹き抜け階段でつながります。



増築部分概観イメージ図
（株式会社INA新建築研究所 提供）

Students' Voices 塾生の声

2017年度の微音塾では、20代から50代までの様々な業種の女性
が同じ教室で肩を並べて学びあいました。これからリーダーを
目指す人だけでなく、既にリーダーとして活躍している人がさらに
自己を磨く場としても微音塾は活用されています。



女性
が男性のポジションに就いていくということは、
反対に男性が女性のポジションにも就いていくことだと
気づき、ハツとしました。キャリアをあきらめず、
自分らしくstep upしていきたいと勇気を頂きました
（女性のエンパワーメントとリーダーシップ）

管理職の役目についても、シンプルに考えて良さそうで、
気持ちのハードルが下がりましたし、面白そう、
やってみるのも良いかも、と思いました。
少し勇気をもらえました
（女性のエンパワーメントとリーダーシップ）

実際の有価証券報告書を使って頂いたので、
事業内容をイメージしやすくて良かったです
（財務会計）

歴史的な流れや最近のトレンドなどおりまぜながら
話して下さるので、「こういう決まりだから、こう」
ということだけでなく理解していくことができます
（財務会計）

CSRの枠組みに限界を感じていたので、
CSVや主要なガイドラインを教えていただき
ありがとうございました
（イノベーションとアントレプレナーシップ／CSRと情報開示）

破壊的イノベーションの重要性を初めて知り、
社内で関係する業務に興味をわいた
（イノベーションとアントレプレナーシップ／CSRと情報開示）



改めて考えると、職場の人も友人も夫も
異文化であり、どのように異文化と接していくかと
考えることは、とても身近な問題であることに気がついた
（異文化コミュニケーション／リーダーシップ）

ケーススタディでは意志決定にものごく頭をつかった。
ふだん自分をさげすまず、決めない態度で
仕事しがちなので、決めていこうと思いました
（異文化コミュニケーション／リーダーシップ）

1つ目のGW（グループワーク）では、
同じグループの方が、実際の業務で直面している
課題についてディスカッションしましたが、
ターゲット設定、課題、自社の強みなど、具体的な話に
おとしこむことができて勉強になりました
（経営戦略／マーケティング）

戦略と組織のギャップについては日常的に
感じていることなので、考えるよいきっかけになりました
（経営戦略／マーケティング）

個人としての目線と会社法人としての目線の両方で
法律を考えることの大切さ、面白さを学ぶことができました
（企業と法律）

世界の女性の労働の現在を知ることができて、
とてもよかった
（企業と法律）



お茶大女性ビジネスリーダー育成塾：微音塾

I. 微音塾の概要

お茶の水女子大学(以下、本学)は、女性リーダーの育成を重要なミッションとしています。お茶大女性ビジネスリーダー育成塾：微音塾(以下、微音塾)は、その使命の一環として、企業等で指導的立場(上位の管理職)に就くことを目指す女性を応援するために開設されました。微音塾は次のような特長をもつ学びとネットワーク構築の場です。

- 1.企業等で指導的立場に就くために必要な経営戦略、組織マネジメント、リーダーシップ、企業会計等に関わる内容を、授業では初歩から提供します。
- 2.質問には講師が詳しく回答、レポートには講師からコメント※が返ってきます。
- 3.受講者は女性のみ少数人数制、ワークショップ形式を取り入れるなど、実践的な内容の授業です。
- 4.土曜日午後1講座から受講することができ、働く女性が受講しやすいカリキュラム設計です。講座によっては部分受講(4日間のうち半分の2日間受講)の制度もあるので、興味があるところを選んで受講することができます。
- 5.講座中に1回開催されるネットワークギングランチ(昼食兼交流会)を通じて、業種を超えたネットワーク作りのきっかけに利用できます。
- 6.講師やOGを含む塾生との交流ができます。受講後も交流が活発でリーダー多数。OG会※も意欲的に活動中です。
- 7.都心にある本学キャンパス内(文京区大塚)で開講され、アクセスしやすい環境にあります。

※1 春学期5月講座のレポートには微音塾実施委員(本学教員)からコメントをお返しします。

※2 <http://ogkaikin.iinaa.net/>

II. 受講対象者

微音塾の主たる受講対象者は、課長相当職に就く以前の年齢層(概ね20代後半～30代)の女性です。当塾は、女性ビジネスリーダーの育成を目的としているため、女性のみの募集としています。各講座を受講するにあたっては、大学卒業程度の学力が必要です。また企業等での就業経験のあることを前提とします。企業等で指導的立場(上位職、管理職)に就き、仕事における活躍の場を広げたいと考える女性の積極的な受講を期待しています。

III. カリキュラムと開講日程

2018年度の各講座の内容、講師紹介はp.4～p.6をご参照ください。

☆各講座中1回、ランチを兼ねて塾生同士のネットワークを構築するための交流会(ネットワーキングランチ)を開催します。

(開催日は事前に連絡します。11:30～13:00、別途参加費が必要です)

☆9月講座「企業会計」受講者向けブレ講座を開催します。詳細はP.6をご覧ください。

IV. 募集人員

女性 30名(各講座)

V. 開講場所(教室)

お茶の水女子大学(東京都文京区大塚2-1-1) 人間文化創成科学研究科棟 6階 604室

【最寄駅】東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅から徒歩12分／東京メトロ有楽町線「護国寺」駅から徒歩13分／都営バス「大塚二丁目」停留所下車徒歩6分

※時間：駅から教室までの目安です。 ※土曜日は南門が閉鎖されているため、正門からお入りください。 ※自家用車、バイク、自転車での通学はご遠慮ください。

※土曜日は学内の食堂・売店は営業しておりませんのでご注意ください。

VI. 受講料

- ☆2018年度より、春学期5月講座・6月講座に加え、冬学期1月講座も、2日間だけの「部分受講」が可能になりました。
- ☆2018年度より、複数講座の申込割引制度に替わって、入塾料制度を導入しました。これに伴い、お茶の水女子大学卒業生・修了生とその他の受講料を同等にし、本学卒業生・修了生には入塾料免除のサービ

※この制度とサービ

※この制度とサービ

区分※1	入塾料※2	1 講座 (4日間8コマ)の受講料	部分受講 (2日間4コマ)の受講料※3	「企業会計」ブレ講座 (2コマ)の受講料※4
一般	3,240円 (3,000円＋税)	29,160円 (27,000円＋税)	19,440円 (18,000円＋税)	8,640円 (8,000円＋税)
お茶の水女子大学 卒業生・修了生	無料			

※1 法人でのお申込の際も、この表は適用されます。

※2 初回お申込時のみかります。

※3 春学期の5月講座と6月講座、および冬学期の1月講座は、全4日間8コマのうち2日間4コマの部分受講が可能です。日程は「開講講座・講師一覧」ページをご参照ください。

※4 「企業会計」ブレ講座のお申込には、「企業会計」講座のお申込も必要です。

VII. 受講申込

- 1.申込期間 春学期 2018年3月17日(土)～2018年4月16日(月)
6月講座 2018年3月17日(土)～2018年5月14日(月)
秋学期 2018年7月9日(月)～2018年8月8日(水)
11月講座 2018年7月9日(月)～2018年10月15日(月)
冬学期 2018年11月12日(月)～2018年12月10日(月)
2月講座 2018年11月12日(月)～2019年1月15日(火)

※郵送の場合は必着

- 2.申込方法 (ウェブ又は郵送)

微音塾ホームページの[申込サイト](#)をご利用ください。

ウェブによるお申込、又は郵送によるお申込が可能です。

郵送の場合は、受講申込サイトから以下の書類1)と2)をダウンロードし、必要事項をご記入のうえ、

下記の宛先へ郵送してください。

【申込書類】

- 1)申込書(所定の用紙、初回申込時は必須、2回目以降の申込では内容に変更があった場合に提出)
- 2)志望理由書(所定の用紙)

【申込書類提出先】

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 お茶大女性ビジネスリーダー育成塾：微音塾 事務局

※封筒に「申込書類在中」と朱書きしてください。

- 3.申込上の注意

・申込書類に不備があるものは受け付けないことがあります。

・外国籍の方は、住民票に記載されている本名を用いてください。ただし、日本名も同時に登録してある方は、日本名を用いてもかまいません。この場合、全ての申込書類の氏名は統一してください。

・一度受理した申込書類は返還いたしかねます。

VIII. 受講の可否の結果通知

申込者にはウェブ又は郵送の「志望理由書」にて志望理由をうかがいます。志望理由の内容によっては受講いただけない場合もあります。

本学としての受入可否については、申込後1週間程度で本人宛てに電子メールで連絡します。受講手続(受講料の納入方法など)も電子メールで連絡します。

IX. 評価と修了証の発行

出席回数と課題レポートによる評価後、講座ごとに修了証を発行します。4種類以上の講座を修了した場合は、全体修了証も別途発行します。(年度を越えて受講した場合も対象となります)

ただし、部分受講(2日間)については、課題レポートの提出は任意又は不要、修了証の発行は対象外となります。ご注意ください。

【注意事項】

・個人情報の取り扱いについて

本学では、個人情報の保護に関する法律を遵守し、個人情報の適正な取扱い及び最善の管理対策を講じています。

申込に当たってご提出いただいた個人情報(本件以外に使用することはありません)。

問い合わせ先

お茶大女性ビジネスリーダー育成塾：微音塾 事務局

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1

TEL:03-5978-5501(水・金 午前10時～午後5時)

E-MAIL: kiin-le@cc.ocha.ac.jp